京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●各地の農況

▲各地の旱害　全北群山附近は旱害の爲め挿秧不能の箇所多く七千四百六十八町に上る而して植付を終りたる部分も漸次枯死しつゝあり▲扶安郡にては平均十分の四の植付を終り▲萬頃郡にては全く植付不能のもの三面其他は十分四を終る▲金堤郡は旱害の爲め麥作平年より二割減▲全南光州羅州附近も旱害甚だし

▲各地蟲害　全北益山郡に螟虫及小金虫發生し果樹野菜類の被害甚し▲平北宣川郡に夜盗虫浮塵子發生畑一千八百五十九町田四十七町歩損害甚しく同道定州郡にも同虫發生粟黍の被害多し雲山楚山兩郡にては浮塵子發生被害甚しく大昌城にも夜盗虫多く朔州にても同く粟約八十七町稲田町五蜀黍廿二町稷廿町生麻三反歩の被害あり龜城郡にては始め粟畠に夜盗蟲發生遂に稲田を侵せるが其他博川、嘉山、郭山、熙川、碧潼、寧邊各郡にても蟲害の爲め作物の損害夥し

（新刊紹介）

●法政新聞（第二號）前號よりも体裁記事共に完備し來る口繪の李朝五百年來百萬人の斬首刀は最も珍也本號の讀物は淺見法學士の司法權受托の設備に就て及渡邊大審院長の刑法と他の法律及科學との關係等也其他總て一讀の價値は充分にあり（發行所京城大漢門前法政新聞社）

●東洋時報（百廿一號）例によりて優美の表裝記事頗る豐富東洋問題研究者必讀の雜誌也（發行所東京麹町内山下町東洋協會）

●實業の世界（九號）例により野依式にして頗る花やか也活氣横溢青年の心氣を魅するの力あり（發行所東京芝區三島町實業の世界社）

●實業之日本（十八號）實業の世界が野依式なるが如く是は增田式なり記事總て敦厚の風あり商家の子弟には必讀の雜誌實業界の羅針盤たる價値なきに非ず（發行所東京南紺屋町實業之日本社）

●美（三號）瀟洒なる小冊なれども内容は比較的精選（發行所京都寺町通二條芸艸堂）

●明治の家庭（九月號）家庭の讀物として恰當の雜誌（發行所東京寶文館）

●特許公報（十四號）統監府特許局の發行に係はるもの特許上の事は網羅し悉くす

●韓國經濟月報（六號）度支部の編纂にして財務彙報廿一號の附錄也

俳句

●第五回六句集　すみれ會

▲毛虫（結同前）　むら判

我ながら殺しかねたる毛虫哉　霞城
野の道や地藏の顔を毛虫這ふ　四樂
野散歩や毛虫にさわぐ乙女達　六坊
野桃とる我兒毛虫に刺れけり　淡水
葉隠れに幾万匹の毛虫かな　四樂
花切れば帯留を匍ふ毛虫かな　月哉
道端に蟻群る毛むしかな　笹波
鐘堂の櫨木に留まる毛虫かな　凸坊
ぶら下る毛虫間近き書齋かな　月哉
毛虫燒いて一入あつき毛虫哉　松月

◉自句

鈴引けば毛虫落ちたる村社哉　むら

▲薄羽織（結字同前）

在所者家代々のうすばをり　秋花
襟元を直す他所出やうす羽織　天心
演說の仲間入りしてうす羽織　四樂
夕月に光る矢立やうす羽織　かつら
夕立に質値をとすやうす羽織　淡水
帯留のひかつて見ゆる薄羽織　笹波
鈴の音や停車場いそぐ薄羽織　四樂
安つぽいひげ代診やうす羽織　月哉
野男が四角張りけりうす羽織　同
繰珠數も見るや比丘の薄羽織　同

◉秀逸

野男の膝いたそうずうす羽織　かつら

◉自句

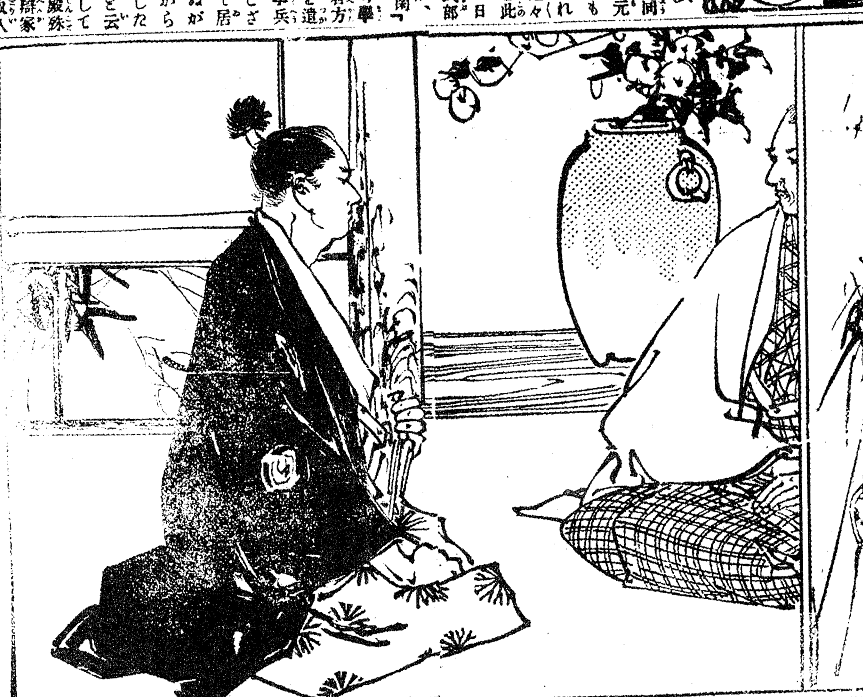
留められし袖も拂へず薄羽織　むら

中山大納言



第四十五席　桃川燕玉演

されば竹内式部、今では閑齋の家の婿同樣、何一つ不足なく此處に居ります中に元と學問があつて其上香花、茶の湯、何でも心得て居りますから、自然と其れから其れへと懇意な人が出來、又弟子も出來、追々都で人に知られるやうになりました、と此事が德大寺殿の御耳に入りまして、或一日閑齋を召されまして　德「其方宅に竹内式部と云ふ若者が居る由、大分評判が良いが、其方の婿に致し後を相續致させる考か」閑「御意にございます、何分醫術は中年から學びまして容易には上達致しませぬ、拙者方の婿と云ふ次第にもなりませぬが、娘を遣はし別家を致させまする考、本人は漢學兵法、誠に多藝な人物、頼母しき若者でございます」とそこは自分の娘が情を通じて居る、公然婿養子と云ふ譯ではありませぬが行く〳〵は斯うと云ふ考もございますから德大寺殿の御前を能い工合に取繕ひました　德「兎に角當人を麿が許へ連れて參れ」と云ふ、そこで兩三日經つて閑齋が同道をして館に出る、段々御話をすると、德大寺殿殊の外御意に叶つたのは、博學にして能辯家でございまする、茲で段々德大寺殿に取入りまする内に、多くの公卿方に御懇意の方も大分出來ました、どうも經書の講義などを御聽きなさるに、都の街は雜閙して居りますから氣が散つていかぬと云ふ、御別莊が都の西、桂川に高瀬川と云ふ流れを二つ越へまして、極樂寺の左が德大寺村と云ふ此處に誠に閑雅な御別莊がございまする、此處へ式部を召されまして、毎度經書の講義を御聽きなさる、名代の山崎闇齋の流れを汲んで竹内式部と云ふ人は頗る漢學には長けて居る。五月の初めの事でございまして、德大寺村御別莊へ出ますると今日は若手の公卿方が二十一人、中山大納言も御出でゝございまする、櫻井少將、或は壬生少納言、鷹辻宰相なんと云ふ、正面へ今なら毛布以前の事で朱の毛氈を敷いて、其上へ結構な見臺があつて式部其へどつかり着座に及ぶ公卿方は左右に御着座をなさるそこで式部が經書の御講釋を致しました意義明瞭に實にどうも辯舌は懸河の水の流るゝ如く、公卿方に於ても感に堪へて御聽聞をなすつたそれが終つて後に太平記の講釋を致しました吾々が机を叩いて饒舌るやうな講釋とは違つて、竹内式部が太平記の講釋、其損害理義を正し、大義名分、曲直を滔々と辯じ、満場の公卿方に感動を起さしたのは當時天朝の御勢ひ衰へ武家が盛んになつて足利尊氏と云ふ者が朝威を蔑にして武威盛んに相成つた云々と云ふ、今日德川の天下盛にして朝廷は十萬石の御賄ひ、多くの公卿方が貧しき御暮しをなさる、足利尊氏の暴虐にも勝つて德川將軍が武威に任せて朝廷を蔑に致す、捨置くべき所でないと云ふ。自然若い御公卿方に、なんとあなた方は御腹は御立ちなさらないか、どうも今の士は惡むべき振舞であると、感覺の起りますやうに竹内式部が辯を振つて說き立つた、時に竹内式部が大内裏の御講釋と云ふのをした、十善帝王の御住居と云ふものは今日のやうな微々たる御住居ではない、昔の大内裏は斯うであつた、當時の御公卿方の勤は斯う云ふもの、今日は武家の爲に壓制をされ、天子樣の御住居は見る影もない、從つて公卿衆の御住居なども實に御痛はしいと、頻りに此式部が滔々と辯じ來つた、そこで櫻井少將、壬生少納言、鷹辻宰相などゝ云ふ血氣盛の御公卿方は、齒を喰ひ切り腕を扼つてウムーと言つて唸り出した、惡むべきは德川將軍、どうも朝廷を蔑しろに致す、關東の跋扈捨置き難いと、自然と茲に氣が立つて來た、そこで一席の講釋が終りまして、式部は末席へ退つて　式「扨今日は甚だ御退屈でございました」「イヤどうも先生御苦勞であつた、誠に感に堪へて謹聽致した、王政復古の大典、是はなか〳〵容易ならざる事だが、何と竹内其方に良い考はないか」と御尋ねがあると、竹内式部心中仕濟したりと大きに喜んで、庭へ降り立つて池の傍に咲いて居りました葵の花片を取つて御座敷へ參りまして　式「なんと各位樣之を御覧遊ばせ、今を盛りの葵草も、扨斯の如くに致し葉を落してしまへば、殘るは軸ばかりでございます、何と斯く致しますれば」と暗に葵を枯らして菊の盛りを見やうと云ふ即ち其幕府を倒しまする時節をうく〳〵若手の公卿方に申されました、さア一同の人々が勇氣非常に立つて天晴れ勇ましき竹内先生の議論、どうか王政復古、武家を倒して昔の大内裏、菊の榮えを見たいと云ふ、是から竹内式部は段々多くの公卿方へ取入りまして、彼の德川家を倒さうと云ふ大議を企てました



京城新報

統監と産業政策

曾禰統監就任當時其政策として世に發表せられたるは、政治上の事は稍々一段落を告ぐ、今後は須く産業の振興を計るにありとなす、所謂空なる政治的施設よりも飯を食ふことに努めざる可らずとの意味を以てせり、是れ乃ち産業保護政策也。統監の意旣に産業の保護奬勵にあることを覺れる韓人等は一にも實業、二にも産業の名目を附して保護を仰がんとするに至る、甚だしきは純政治團体にも實業の名稱を冠して保護の恩澤に浴せんとするものあるに至れり、玆に於てか統監自身も其産業政策の標榜を韓人等か誤解せることを知り、偖こそ三十一日の大臣會議に於て一場の訓示をなすに至りしならむ、訓示の要に曰く、一國産業の發達は國民各自の奮起するにありて決して政府其他の補助に依賴すべきものにあらずと云々と、然り一國産業の發達は國民各自の奮勵にあるは全く統監の云へるが如し、然れども韓國の如き國民幼稚にして産業上の智識に乏しき所に於ては唯手を空ふして彼等の奮起を俟つべからず、必ずや之を鞭韃し之を奬勵して幾多の保護を與ふるにあらざれば振興の氣運は來らざる也、彼等をして猥りに保護に慣れ以て安んぜしむるは其非なるは勿論也、要は唯保護奬勵の按排に宜しきを得るにあり、而して韓人等が統監の産業政策を誤解して猥りに保護若しくは補助を得んことに汲々たるは、畢竟之れ統監の産業政策なるものが不明瞭なるが爲ならむ、其奬勵保護の方法が朦朧として曖昧なるが爲ならむ、唯夫れ産業を振起すと云ひ、保護奬勵すると云ふも如何なる方法によりて之を實行せんとするかを示されば何人と雖も其政策に迷ふは當然也、啻に韓人等が之を解せざるのみならず、余輩日本人にも亦之を解する能はざる也。

實際に一國産業の發達は國民の奮起に俟たざる可らざるも、現在の韓國にては保護を與へざれば到底發達せず、然らば之を如何に保護奬勵すれば可なるやが問題也、朝に保護を與へ夕に之を取消すが如き朝令暮改の産業政策は無論非也、有利なるものを擧げて官營となし或は特に一部の事業にのみ保護を與へて唯一部を利せしむるが如きは尙更に非也、我國に於ても明治維新當時に於ては頗る雜的の産業政策を取り朝に保護し夕べに之を取消すが如き事多かりき、是が爲に却て産業の振興を遲々たらしめたるの例は乏しからず、之れ保護奬勵の方法確立せずして不明瞭なるが爲ならむ、統監の産業政策は或は之に類せずやを懸念せらる、若し夫れ産業を保護奬勵せんとならば宜しく公平なるべし、保護も奬勵も公平に之を與ふ可し、實際の保護奬勵は有利の事業を官營となし或は一部の者に特に保護を與ふるが如き事をなすことなく、眞に一切平等の下に自由に競爭をなすに至らしめざる可らず、斯くして始めて産業は振興し來るべし、此時に於ては統監が何等の訓示をなさゞるも産業は勃然として發達すべき也。敢て統監の反省を求む。

東京電報

▲大阪の應募景況

韓國銀行株式應募者は大阪最も多く取扱店は孰れも朝來申込人雪崩を打つて店頭に押し寄せ來り意外の盛况を極めたり而して正午十二時迄を計算するに一千五百〇六萬九千五百六十七株となり約二百十六倍強に達せり(六日午後六時發)

▲韓銀株の應募數

韓國銀行株募集は六日午後一時締切の結果に依れば東京四百九十九萬九千七百六十一株、大阪七百六十八萬二千九百二十五株、名古屋二百十萬五千二百八十四株、横濱八十一萬一千七百八十九株、神戸六十一萬九千〇三十三株、其他九十一萬六千九百二十五株、總計二千〇五十万六千六百九十四株にして募集額は二百九十四倍四四に達したり(七日朝着)

▲韓銀株の應募概算

韓國銀行株申込は東京五百万株、大阪七百七十万株、名古屋二百十萬株其の他日韓合せて

一千〇七十萬餘株にて二百九十四倍七八に達せり

尙ほ日韓兩皇室より千株宛應募あらせられたり(七日午後發)

▲日清協約と間島

日清協約中間島に關するもの左の如し(七日)

一、豆滿江を以て兩國の境界と確認す上流地方に於ては定界碑(乾隆帝の碑)より石乙水を以て界とす
二、局子街、龍井村、東盛湧、百草溝を通商地に開放す
三、日本は二箇月後領事館を設置し統監府出張所を撤退す
四、一定の地を限り韓民の雜居を許す韓民は淸國人同樣淸國の行政及法權に服す、但し韓民に關する訴訟は日本領事の立會を許す、日本領事は不法の判決と認むる時は再審を求むる事を得
五、雜居韓民の土地家屋は淸國人と同樣の保護を與ふ
六、豆滿江沿岸は双方の人民渡船を以て自由に往來するを得、韓民は雜居地より糧食類を輸出するを得
七、吉長鐵道を韓國に延長し會寧にて韓國鐵道と連絡す、此延長線は吉長線の便利の爲めたるを淸國は承諾す

▲日清協約の確定

日淸協約に關する件は大體に於て前報と同じく卽ち日本の營口線延長を承認し新奉鐵道布設は日本と協議を要し撫順炭礦は日本に於て淸國の主權を尊重し採掘税及輸出税を納め撫順以外の南滿鐵道沿線の鑛山は日淸合辨とす云々(七日午前)

▲韓銀株の割當期日

韓國銀行創立事務所は各取扱店の株式申込書到着を待ちて常任委員會を開きて割當額を定む可し申込書の到着濟となるは十四日頃なるべく割當を終るは二十三日頃ならん(七日午後發)

雜報

●東拓會社法の改正(貸附額の增加案)

東洋拓殖會社法の規定による放資額は資金の五分の一なるが故に現在四分の一拂込を了せる二百五十万圓の資金に對して僅に五十萬圓を貸出し得るに過ぎず然るに相當の擔保物件を提供して貸出を出願せるもの現に三百萬圓の多きに達し會社にては産業上最急務なる者のみに對し少額の貸出しを爲せる由なるも之にては拓殖の趣旨を完ふする能はず尠くとも差當り二三百萬圓の放資を爲すに非れば産業開發に資する能はず然るに五分の一貸出則を基礎とする時は尠くも一千萬圓以上の資金なかる可らざるも貸出以外の五分の四の支途は今日に於て左程急務にもあらざれば濫出は勿論警戒せざる可らざれど結局五分の一なる率を改正し貸出總額を高むる必要あるを以て大藏省より同法の改正案を今期議會に提出の筈也と

●東煙本社の移轉

東亞烟草株式會社は現に東京に本社を有するも設立當時は滿韓樺太を發展地とせるを以て自然策源地を東京に置くの必要ありしが樺太は本年四月專賣局の手に移り爾來滿韓兩地のみとなりたるのみならず製造所を設立する事となりたれば此際本社移轉の必要起り大連又は京城の兩地を撰定中なる由而して多分京城に決定するならんと云ふ

●淸國居留地問題眞相

旣記淸國專管居留地問題に關する當該官の交涉顚末に關し統監府より公示したる全文左の如し近頃韓國に於ける支那專管居留地設定に關し種々の傳說あれども何れも多少の誤あり抑も該居留地に關する交涉は本年三月中開始せられたるものにして兩國政府より任命せられたる委員卽ち統監府外務部長及淸國總領事其協定の任に當れり右は別段難問題に非らずして單に現在の狀態を文書の上に規定せんとするに外ならざるも時世の變遷に依り多少の變更を要するは勿論なりしが兩國委員は數回の審議を重ね本體の取極めをなしたるに其內警察權の委任及永代借地權を居留地撤廢後普通所有權に交ゆるの二點に於て双方の意見一致せざりしかば互に意見を具して取極案と共に本國政府に差出し其決定を仰ぐ事となりたる迄にて世間に傳ふるが如く談判不調に終りたる譯にあらず元來該居留地設定は淸國側よりの請求により當方に於て好意的に之れに應じたる次第に外ならざれば淸國政府が我が協定案に同意すると否とに依り右取極めの運命も決せらるゝ譯にして當方に於ては之が爲め別段痛痒を感ぜざる趣なり

●警備船の構造と任務

警備艦艇は外波海軍大佐が苦心の設計になり船形は沖合を遊弋する便宜上漁船に摸し船長最大四十尺(十隻)最小三十尺にて石油發動機を備へて危急の場合及び港灣入港の場合に便じ平常は帆檣を利用して航海するの仕組にて一隻に要したる經費二千五六百圓全体にて四萬四百圓を要したるが此經費は特別の事情ありて頗る安價に出來したるものゝ由尙は過日進水の成績は豫定以上の好成績を得て不日役務に服せしむべく內十隻は專ら海賊掃蕩に當り六隻は密漁船の取締に當る筈なる由乘組員は巡査三人水夫一人機關手二名を乘組ましむべしと

●水上警備規定の確定

警備船を以て水上の警務に當らしめんとする由は旣報の如く其內容は未確定にして定繫塲の如きも必ずしも木浦麗水に確定したるにあらず唯だ所長を警部として巡査四十餘名を增員し同船十艘を以て警備する筈にて既に乘組機關士及水夫採用規定同被服給與規定警備所規定船旗報告類及船內心得規定等は略ば確定したるに就き一兩日內發表せらるべし

●度量衡擴張の今後

農商工部が度量衡の普及を爲す爲め今日迄で各所に販賣を置きたるが總數は約六十ケ所にして近々發布せらるべき度量衡法の發布と同時に益々其範圍を擴張する筈なるが今后第一着に着手する地方は慶尙南北道にて該地方は登圓に普及すべく本年度は北道全部及南道の過半を了り鎭南浦新義州龍巖浦宣川等を始め其外樞要の地區に及ぼす筈

●國税徵收額區別

本年度韓國內國税徵收成績は益々良好にして去る六月末現在收入額は四百五十七萬二千五百七圓に達せり今各監督局別收入額を示せば左の如し

局名	調定額	收入額
漢城	九三八、三三一	四三三、一一九
公州	一、三五六、一六三	八〇四、九七七
全州	三、九九五、三五三	一、一九六、二七七
大邱	二、三〇三、五〇七	一、五三三、九六四
平壤	一、六〇〇、五六四	四九四、四〇六
元山	二四六、一〇三	一一〇、七二三
合計	一〇、四三九、〇三三	四、五七二、五〇七

因に前記調定額は豫算額に比し二百二十九万五千三百十四圓超過し收入額は三百五十七萬千二百二圓の不足なりと

●三税徵收と成績

韓國新三税は愈々去る五月より徵收に着手したるが六月末日に於ける收入額は左の如し

	調査額	收入額
家屋税	五八、九九六圓	一六、〇三八圓
酒税	七五、二三五	一二、三四〇
煙草税	二六、九八七	六、二四九
合計	一六一、二一八	三四、六七二

●度量衡と外務省

韓國政府に於ては度量衡の販賣は認可を與へたる者にあらざれば輸入を禁止する筈にして目下外務省と交涉中なれば不日實行の運びに至るべし

●米國總領事代理

京城駐在米國總領事トーマスサモンス氏は過日賜暇歸國せしに就き同副總領事兼代辨總領事ヲツロ、レーグーンド氏同領事館事務を代理すると

●水利組合と內部

目賀田財政顧問時代に度支部令を以て水利組合條令を發布したるが水利事業は內部の所屬に歸すべしとの論出で今後は內部にて該事務を掌る由

●曾禰統監の敘勳

曾禰統監には九月六日付韓皇帝より特に大勳位に陞敍せられ瑞星大綬章を賜はりたりと云ふ

●衝突一回も無し

渡邊少將の率ゆる南韓討伐部隊は酷烈なる殘暑を犯かし賊徒搜索中なるも未だ一回の衝突も見ざる由

●昨日の大臣會議

昨日午前十時より定例大臣會議を統監府にて開く何等重要會議なく約一時間にて散會せりと云ふ

●韓國の應募總數

韓國に於ける日韓各銀行の取扱に係る韓國銀行募集事務は松尾委員長の電報にて初日午後一時を以て締切りなるが今韓國に於ける應募高は合計四十八万二千九百七十七株此の申込人員二千百九十四人の多きに達す銀行別左の如し

	人員	株數
一銀京城支店	七一六	七七、四七九
漢湖農工銀行	三九一	二一四、五四四
天一銀行	三五二	一一七、三六五
韓一銀行	一一七	五、九九五
漢城銀行	四七	五、五八八
小計	一、六二三	四二〇、九七一
一銀仁川支店	一一六	一八、三六六
同 釜山支店	三三三	二六、二一三
同 平壤支店	一二五	一七、四二七
小計	五七四	六二、〇〇六
合計	二、一九四	四八二、九七七

即ち韓國のみにて募集株の約七倍に達せり

●株式割當の方法(端數割當と統監意嚮)

韓國銀行應募の株總數は數百倍の多數を以て締切りとなりたるに就ては之れが割當の方法は按分比例を以てし假りに四百倍の應募ありたるものとしたらば四百株以上の者に割當てたる上端數の出でたる場合に於ては創立委員に於て隨意に之れを處置したる筈なれば曾禰統監は此端數株は可成韓國側へ割當られたき旨創立事務所へ通報せりと

●大韓工業會創立總會

過日軍部廢止と共に豫備に編入されたる將校十余名の發起にて大韓工業會設立の議ありしが去る五日午後二時訓練院に於て第一回創立總會を開けり今其槪梗を聞くに來會者百余名に達し先づ前陸軍參領鄭寅煥臨時會長につき大要左の開會の辭を述べたり吾大韓國は四千年來の習俗として工業を賤むの傾きあり從つて工業發達せず爲めに國利民福の實を擧ぐる能はず甚だ遺憾なり依て玆に工業の發達を期し大韓工業會を組織せんとす諸君務めて贊同あらん事を云々次で前參領朴文秉は趣旨書を朗讀し次で全文廿三條より成る會則を制定せり其內容は役員の資格及選擧會員入會手續會計に關する事項にして入會金は一圓を一般會費は毎月金十錢を納附する事に左の役員を選定せり

總裁 趙羲淵　副總裁 白性基
會長 尹致成　副會長 鄭寅煥
總務 林在德　工務部長 金善浩
敎務部長 李海元　財務部長 張錫祚

外に議事員參事員四十名を選定せり

●京城內の屠獸額

本年一月より六月迄に京城に於て屠殺せし牛豚數中日人扱に係る牛は三百五十六頭同韓人分六千〇九十九頭計八千四百八十四頭肉斤數三十六萬〇六百五十四斤にして平均一頭の肉量は四百廿四斤強同價格四十一圓五十六錢強なるか之を京龍十七万の人口に割當つれば平均一日一人の用量一匁八八同一ケ月五十六匁四豚は日人の屠殺せしもののみにて千二百五十九頭斤數六万三千四百八十斤なるが其平均單價は四圓同肉量五十一斤强なりと

●電話地下線埋設

電話加入申込者增加に從ひ現下本町四丁目迄埋設しあるケーブルを更に六丁目附近迄延長埋設の必要を認め不日其工事に着手する筈なるも鐘路狹隘殊に人馬輻輳する場所柄の事とて工事に多大の困難を生ずるを以て目下當局者は是れが着手方法に就き研究中なりといふ因に今回の申込數は四百余にして來年二三月頃迄には悉く開通の運びに至るべしと云ふ

●關東學會の總會

去る五日午後二時より中部鍾谷關東學會に於て同會定期總會を開きたるが出席者十四名にして左の件を協議し薄暮散會せり

一、七八兩月分會計帳簿檢査員として朴起東、權淳九を選定の件
一、會長南宮檍觀爽に因り辭任を請願したるも留任せしむる件

●全北の道路修繕

全羅北道內にては昨春以來道路修繕工事を爲し舊道の幅員最狹は三四尺に過ぎざりしを多少共擴張して之れを十五尺迄取り擴げ總延長實に三千二百六十三里半に達したるが今後も適當なる道路を撰みて工事をなす方針なりと云へり

●ソンタクの給料

ソンタクに對しては一ヶ月六百五十圓宛七ヶ年雇入の契約を昨年十一月宮內府より結び居るを以て同期間の給料を拂渡すとすれば五萬四千六百圓に上るを一時三万圓を給して解傭せし次第にて其他には何等の賜金なりといふ

●龍山に病院設立

前靑坡病院主任醫石川篤夫氏は今回自分院長となり龍山に一大病院を設立するの計畫中なりと因に外科に和田前海軍々醫少監內科に元仁川病院長たりし松村醫學士を招聘する筈なりと

●救世軍新加入者

西大門內珠峴の救世軍本部に於ては五日午前午後の兩度布敎者ビーヨックス氏の說敎あり參會者百五十七名內女六十名新加入信者女二名ありたりと

●宮內府雇聘外人

目下宮內府に於て雇聘せる西洋人はジョリー夫人(米人)エッケルト氏(獨人)の二名にしてジョリー氏は[illegible]事エッケルト氏は音樂の敎授を執れりと

●大同日報の招宴

大同日報編輯人安朔善氏は昨七日明月館に日韓新聞記者を招待して披露の爲め盛宴を張りたりと云ふ

●渡邊事務官歸任

豫て歸省中なりし農商工部水產局事務官渡邊氏は六日朝歸任す

公人私人

▲龍岡德次郞(木浦區裁判所判事)六日歸任 ▲守下精(鐵道院參與官)同釜山へ ▲川本永守(同上)同上 ▲南通雄(辨護士)六日天眞樓へ ▲藤井啓(同上)同上

近事片々

▲帝國の國勢―北は寒帶の樺太を領し南は熱帶の臺島韓國の保護滿洲の經營をなす
▲現在臺灣に生蕃討伐韓國暴徒の掃討に任じ滿洲には兵士銃を擔て鐵道線を守護す
▲極東全局より觀れば極て平和也と雖も部局は亦多事也と云ふべし帝國の任務重大
▲國勢の伸張と共に任務は益々重し今や東洋の平和は擧て帝國の双肩にあり亦偉也
▲然れども國勢の徒に表面耳進張して實利の之に伴はず兎角得名捨實に流るは遺憾
▲二千年來關係ある韓國に邦人移住者タッタ十餘万滿洲に至ては更に少し深慨千萬
▲滿韓共に自由渡航を許しあるも兎角移住者に制裁多き爲に多數を抱容する能はず
▲殖民地は淸濁併吞を要す聖人君子のみにては荊棘を伐り不毛開拓は到底も六箇敷
▲何れの殖民地にても移住者を迎るに淸濁併吞也聽て恒產出來れば一廉の紳士たり
▲眼前京城の移住者に見るも分明今紳士と稱する人の昔は決して聖人君子耳ならず
▲三南線の分岐點は太田に決せんとの事左もあらむ是れ公平の觀決して依估ならず
▲東拓五分一貸出金の制限撤回の必要を大藏省も認む本期議會に改正案提出せんと
▲其非を悟るに遲かりしと雖も悟らざるに優る而して更に重役改選最も急務か非耶
▲一進會は韓銀株五萬株を申込む是れは彼のものしたる廿萬金を以て充つる也とか
▲果して然らば良き思ひ付廿萬金を會員に分賦するも燒石に水瞬間に消へ失せんか
▲若し夫れ誰かの指揮で權利株賣買により利せんとするが如き事あらば誤ぞかし
▲救世軍は始の勢に似ず近來更に振はず然り韓人は唯布敎のみにて歸依せざるなり
▲救世軍の本領は布敎に加ふるに基督敎的事業に依りて感化するにあり事業開始專一
▲荒蕪地でも開墾して模範的基督敎的の部落を組織するも可也斯くせば成功疑なし
▲大連本年の貿易は輸出七千万圓輸入三千萬圓の見込也と是昨年の倍額大に可賀也

東京電報

▲京元吉會線は無障 北京發

▲湖南京元と閣議 湖南京…

…るべし(七日午後)

●各地のコレラ 虎疫の初發は新義州八月廿二日龍岩浦同廿六日義州廿八日京…

…人九にして死亡三十二名なり

●提灯張替料の徵收 旭町三丁目三月…

…迄乘車せんとて其賃金を問ひたるに…れば五十錢なりと答へしに不當なりとて…

●天氣豫報(自七日午後六時至八日午後六時) 北東の風曇

▲相談の相談▼

(何でも御相談に應じ升)

◎問 小生は當年廿四歳の男子にて醬油米穀味噌商等に勤め居りし者なるが先月渡韓致し所々雇口を見付けしが不幸にして一軒も見當らず只今は實に困難致し居ります處へ貴社の新聞を拜見したるに相談の欄の事幸ひと思ひ御依頼申候へば何卒御盡力に預り度此段御願申上候(無名氏)

◎答 住所姓名を明記して本社無料紹介欄へ依頼せられたし(係)

◎問 小生事當年取つて十七歳に御座候然るに殘念ながら身長四尺八寸餘にて如何にも殘念に思ひ居り候且脚氣の氣味あり女の足の如く太く御座候如何致さば小さく成り又身長を增し得るやたやすく出來る方法有之候はゞ御教へ下され度希ひ上げ奉り候敬具(十七歳少年)

◎答 右は何れも醫師に相談せられずては必適の方知るべからず候、尤も目下歐米にては盛んに身長法實行せられ居る樣なれど未だ日本にて實驗せられたるを聞かず猶器械を要する方法故素人にては不可能なるべし、十七歳で四尺八寸なれば低いと云ふ方にはあらざるべし(係)

◎問 私は或る雜貨店の店員ですが最早今年十九歳にも成り何日迄も他人の内に奉公して居るのも本意無く元來私の目的は獨立獨歩にあるのですから縱令小さくとも自身が商賣致し度思ひ居り(中略)僅かの月給から何も彼も差引き(中略)漸く貯金が十圓程有ります此れ丈けの金にて商賣の出來ると云ふ樣な事は有りませんですか無理なれ願ひですが(某雜貨店の一店員)

◎答 無いことはないが僕は君がモ少し商法の見習いをせらるゝ事をれ勸めする、獨立と云ひ獨歩と云ふことは他人と協力若しくは協同することを妨げるものでない、資本は十圓でも宜いが十圓や二十圓で獨立するには餘りに幼稚であると思ふからモウ二三年辛抱なさい(係)

●印刷屋の黒鼠

本町通りに何々商會と云ふ印刷屋がある隨分得意も廣く仕事も澤山あるに拘はらず主人の手許に於ては月々數百金の損失を招き大に經營上苦慮しつゝある由なるが其れに引換へ店員の某々等は自宅に堂々たる店舗を構へ時々花柳の巷に出入して豪遊を極むると云ふ恰かも百鬼夜行の有樣であるが今其内幕を聞くに支配人の何本とか云へるは現主人に仕ふる事既に十四五年頗る忠實なる店員として信用厚かりしが主人が餘りに同人を信じたる結果一年中半分通は郷里神戸に歸りて店務一切を同人に托して顧みざるに流石の白鼠も何時しか黒鼠と變じ自宅に印刷器を据へ附け主家の受けし注文を主家の職工の手にて版に組み其儘之れを自宅に運んで印刷を終へ己れの受負として納入すると云ふ至極都合の能い內職を初めしが是れが發謀は同じく店員の古顔何田と云へる者にて何田は專ら注文を受け何本は之を印刷して納めると云ふ鹽梅で主人の家は大きな屋体骨を構へ多數の店員や職工を雇入れて而して一二店員の爲め金儲けを爲てやると云ふ馬鹿〱しき有樣なるが之れを見て取りたる同店員の小才子、主人の爲めには從弟に當る○田と云へる男が頻りに忠義立をして各兩人の尻を搜し機會もあらば之を放逐せんと計り居るは一見殊勝なるに似たれど此男又却々の利己主義で忠義立は主人の爲めに非ず己れが甘い汁を吸はんとするに外ならずで同人の遣り口は只是れ誤魔化し一遍で高く受合つた注文も主人の手前は頗る安くなし中の利益だけは己れが懷中すると云ふ鹽梅なるが之れ又隨分多額の收入ありと見へ彼れ○田が月々清華亭へ仕拂ふ遊興費にても數百圓に達し居れりとか斯の如き有樣にて三人の店員は互に暗闘を爲し各自思ひ〱に利益の奪合を爲し居る一面主人の手許は每月數百金の損失を招き居ると云ふ有樣に適がにお人善しの主人公も遂に撓り兼ねてにや前記の內何田だけはつい先頃解雇したるが其れが爲め何本○田の兩人は事を捏造して主人の金主たる在神戸の某に同商會失態の數々を申遣り機だにあらば同商會乘取りの擧に出でんと密々協議中なりとさ六丁目邊での大評判を聞がまゝ

●稀代の高齢者

▲自ら年齢を知らず▲彭祖の再生か▲人間にあらずと語る

我國に於て古來長命を謳はれたる武內宿禰にも勝りたる稀代の長命者を韓國に見出したるぞ目出度けれ今回民籍調査に際し全羅南道靈光郡元山面新基里住金田太なる者の[illegible]珍翁は自らの年齢生地をの有無をも辨せず唯數十[illegible]なりし時代を記憶するの[illegible]歳の高齢者に付調査した[illegible]の時代は今より六十餘年[illegible]珍翁は依然として今と異な[illegible]彼が經歴を詳にせず少なくとも百歳以上にて或は三百歳四百歳なりとも郷人の間に傳へられ居り珍翁の身長は五尺三寸位身体肥滿頭髮鼠色にて顚項は殆んど毛髮脫落僅かに細毛を存するのみ齒は一度脫落したるも四五年前再生現今に於ては身体强壯矍鑠として食慾其他壯者に讓らず昨年迄は壯丁に伍して農事を營み居りしも本年は漸く腰部に疼痛を覺へ之を疾病の初めなりと云ひ居り目今同邑金古龍方に寄寓隨意農事に從ひ居れるが珍翁は訊問の巡査に對し人間にあらざる(仙人の謂乎)旨を語り居れりと世にも珍しき長命者もあるもの故

●眞正虎列拉病に罹る

▲京城大和町に發生す

當地大和町一丁目[illegible]は疑似虎列拉に罹り居りしが檢[illegible]の結果眞正虎列拉病なりと決定せられたり、昨今同病流行の折柄大に注意すべし

●三女强盗に遭ふ

漢江十五統八戸柳直烈母金姓女、不詳柳漢春母、姓名不詳及豆毛文三母金姓女(五六)の三名は一昨六日京城へ來るの途中正午頃漢江陸室通[illegible]突然三人の强盗が立ち出で金[illegible]る衣類及指輪並に髮の道具を[illegible]るに他の二人は之を見て驚[illegible]恰かも宜し指輪を脫き取らん[illegible]る京城郵便局の集配人と同日漢江附近に釣せる日本人某とが通り合せたる爲め指輪は取り得ずして何れへか逃げ去りし旨前記集配人が歸局と同時に其筋へ屆け出でしかば南部署及銅峴分署より巡査を急行せしめしも既に犯人は逃走後にて其の踪跡を失ひたりと

●仁川に惡疫流行

仁川花村竹內友次長男東洋(九つ)と云ふは一昨日午前十時赤痢病に罹り避病院に收容したるが同花村洞には下痢吐瀉疫非常に流行し居たるが若し同病に罹るものは一日にて死亡する由にて既に數名の死亡者を出し居れるが高木警察醫は虎疫にはあらずと云ひ居れるも仁川署にては充分警戒を加へ居れりと

●擔軍の負ひ逃げ

水標橋通二丁目一番戸曾田榮之助方同居山田小梅は去る六日午後三時頃旭町二丁目藤野わか方にて毛布外六點を受取り擔荷軍を雇ひ之に負はしめ歸宅の途中旭町三丁目周旋業中川方に立寄りたる隙に右の擔荷軍は其荷物を擔ひたるまゝ何れへか逃走せる旨其筋へ屆け出づ

●青坡の風紀取締

西部管內龍山通り青坡は近來多數の下等職人等續々入込み日々喧嘩口論の絕ゆ間なく又怪しげなる小料理店雨後の筍の如く日に其の數を增し酌婦等は風儀を亂し公然裸体戸外を彷徨する有樣なりしが西部署は之等の取締りを嚴ならしめんが爲め是迄韓巡査のみなりしを昨日より特に日本巡査二名を派する事とす

●質の惡い素見客

仁川永石組船夫小泉鐵之助外一名は一昨日午後十二時頃宮町三丁目七福亭方に至り一圓の酒肴を命じたるも急に出來ざりしよりモー不用ぬと立ち出でんとしたれば七福亭の主人も默つて居らず爭論の結果警察の厄介となり双方說諭大目玉を頂戴す

●孕み酌婦の流產

仁川花町三丁目飲食店中田庄助と云ふは七月頃中國より古賀とも(十七)と云ふを百圓餘にて雇入れたる所妊娠し居り本月にて四ヶ月になれるが去月仁川稅關濱に掛取りに行き四尺餘りの所より飛び降りたるが原因にて胎子は流產しとも一昨日死亡したりと云ふ

●公判二件

大阪北區老松町生れ吉田源次郎(三八)が八月三十一日午後八時頃明治町一丁目足立仙太郎方の自轉車一臺を竊取せし事件は當理事廳にて審理中の處昨日懲役二ヶ月に▲栃木縣河內郡絹島村生れ神山義忠(三九)は八月十二日長谷川町二丁目村上伊佐松方に於て原川カヨの女帶一筋外二點を竊取せし事件は當理事廳にて審理中の處昨日懲役三ヶ月に處せられたり

市井のくさ〲

京都府平民當時旭町一丁目六十四番戸居留飲食店營業藤田竹次郎(四八)は客の望に依り開進亭の藝妓小矣爾助の二名を招き客席に侍せしめたる廉にて金二圓▲兵庫縣平民南大門外御成町三十一番戸居留藥店營業井川仁之助(四七)は天麩羅に覆をせずして店頭に置き販賣せし廉にて金三十錢▲大阪府平民南大門外御成町三十三番戸居留藥店營業味岡力松(三〇)は天麩羅に覆をせずして店頭に販賣せる廉に依り金三十錢の各科料に處せられたりと尚旭町一丁目五十二番戸居留兵庫屬(十七)は南大門通の街路に於て覆をせずして水瓜を販賣せしも未丁年者の事とて飲食物販賣の心得及將來を諭されて許さる

演藝

●●●歌舞伎座 彰義隊一座は引續き大入なるが今日の替りは『百年の仇』と題する活劇にして役割は左の如し

夫人よし子(西井)れ米はさな(仁科)仲居きよ、髮すきこれ三、古手屋甚吉(桂木)妾れしん(河野)堀口吉之助(角村)藝妓小時道具屋(中村)書生吉村、木戸番小浩(大和)作左衛門、警部中西(松村)刑事岩本(須藤)巡査月岡(天草)家主吉田、兵士中川、坊主珍念、高弟山坂(北村)踊り子糸子書生中田(三島)本田玄齋、兵士田川(美崎)高橋孝次郎(篠崎)高橋楠一(愛澤)巡査吉川(忍)忠僕禮造(高島)

吉凶鏡

本町五丁目 三一舘判斷

九月八日舊七月廿四日八白赤口辛未ひらく△一白●● 萎微不振の日なり新事見合の事 爭論紛擾注意すべし△二黒●● 平凡の日舊態を改易するはあしゝ△三碧●● 盜害詐謀防ぐべし旅行凶近親間衝突離間を戒しむ△四緑●● 不振の日創始改易の事凶只婚姻の事談は支障なし△五黄●● 斯日は喜憂の岐るゝ日なり銘心誤るなかれ保證引受世話あり△六白●● 他人より各疑にあふあり故郷產地に引退するは吉△七赤●● 契約談合依賴等人に倚る事整ふ壯者は色情を愼しむべし△八白●● 窮弱不通の日なり細密の謹愼を要す酒色賭事其他一步も邪路に入るなかれ△九紫●● 平運の日但し意思の萎縮して事業の退步なき樣懸念すべし

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同舘の鑑定を請はる可し

◀平民文庫▶



▲東京每日電報の京城特派員は何んと云ふ名の人ですか[illegible]統監の病狀に就いて病氣通を振り回して御座るのみか綠りに吾々の如く始終統監に接近して居るものにはトカ何んとか〱子曰く問ふに落ちず語るに落るオツチヨコチヨイのチヨイと甘哉貫や(五葉連)▲料理屋の飮み代や下宿屋の喰ひ代をチヨクラチヨイと拂はないのは御用新聞の記者に一番多い社長の○○さん御存知ないか(へ被害者の一人)▲此の投書の如きは本來は沒とすべきものなるが出さねば拙者の方の腹も探られる樣な氣もするので掲せた、猶投稿者に伺ひ度いのは御用新聞とは何新聞か更に一番多いと云へば他の新聞記者にも少しは有る事になるが此れは吾々に對して如何に依り下僚を左右する樣な奴は筆誅しも無禮である取り消されたい(係)▲折箱のやうではないか(警察官)●●●▲ウンニヤ成らぬ〱士は當時斬新藥て御發だ(小僧)▲貴紙の吉凶鏡は誠に重寶です何卒永續して掲載を願ます然し大韓日報の『明日の曆』とは常に違つて居るから可笑ですな外の事は無論吝自の判斷で異なる所もあらうが大安だとか佛滅だとか謂ふものはソー變るものではあるまいと思ふ例へば九月四日貴紙は友引とあるに大韓は赤口とある何づれが本統か迷つて困ります(敬神家)●●▲川柳と云ふものを唸つて試やうか『二十世紀大和魂墮落をし』も一とつ『世が進み大和魂小さくなり』たまけ『韓國に大和魂分家をし』本家の大和魂は不相變日本の特有さ(仙流子)●●▲西小門通りの白首屋越中亭の主人は常に裸体で店頭に居るが風俗を紊すの營業柄ざて酒蛙然たるものだ(索見生)●●▲僕は此頃何んだか面白く無くつて頼りに胸苦しく感じる……と云つてソンナラ何にが什麼のかと謂へば是れと云ふ纏つた事も無いのだ唯何んとなく詰らないのだ(九花)▲此程の京城日報紀念號懸賞都々逸の蟲と云ふ題に灯取虫を詠んで而も地位に選拔されて在たが單に蟲と題を置けば秋のもので灯取虫と云へば夏の虫と云ふのではあるまいか然し俳句と違つて情歌の題は季に關係なしと言はゞ蟲の題に灯の虫でも蠢の蛆虫でも差支なきものにや敢て斯道の粹史樣方に御高教を仰ぐ(初心者)▲我々如き身分賤しき者の投書に對し御歷々な高等官樣の注意を惹くに至りしは誠に冥加至極光榮此の上なしである然し之れに依て我が平民文庫が如何に各階級を通じて社會に反響を與ふるかゞ判かる(色男のコック)▲何んと此頃は物騷の世の中では御座らぬか詳な所へ大國民の面目が飛び出したり無暗矢鱈に大和魂が暴れ散らしたりイヤハヤ百鬼晝行とは斯かる世の中を申すのでがな御座ろうテ(燗酌子)

제208호 1909. 9. 8.

第二回營業報告

貸借對照表

資産之部

未拂込株金	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇
興業費	九二、二五八、〇六五
貯藏品勘定	一二、〇〇八、五五九
未決算勘定	二一、五二三、七九二
假拂金	七三、五四一、六八〇
有價證券	四、九二四、〇〇〇
銀行預金	四九五、八三八、〇七〇
海外注文品代內渡金	一五七、五七二、九〇〇
韓美電氣會社買收代金	一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
現金	三一〇、九三〇
合計	四、四九七、九七六、九九六

負債之部

資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
契約保證金	八、五一六、四六〇
身元保證金	二六、一三三、〇〇〇
未拂金	一五六、四二三、一二〇
仕拂手形	六二一、三八三、二八〇
借入金	七〇〇、〇〇〇、〇〇〇
前期繰越金	五、三七七、八一〇
當期利益金	六、〇二五、〇〇六
合計	四、四九七、九七六、九九六

損益計算

收入	一七、〇八二、一二五
支出	一一、〇五七、一一九
差引利益金	六、〇二五、〇〇六
前期繰越金	五、三七七、八一〇
合計	一一、四〇二、八一六
後期繰越金	一一、四〇二、八一六

右之通ニ候也
明治四十二年八月

日韓瓦斯電氣株式會社

專務取締役 岡崎遠光
取締役 高松豊吉
同 久米良作
同 大橋新太郎
同 山口太兵衛
同 白寅基
監査役 伊藤幹一
同 平澤道次
同 金時鉉

右調査候處相違無之候也

取締役澁澤榮一辭任ニ付補缺選擧ヲ行ヒシ處白石直治當選シ監査役任期滿了ニ付改撰ノ結果前任者何レモ再撰セラレタリ

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金十五錢▲一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久太
印刷人 久馬一郎
發行所 京城新報社 京城南部西小門通 電話六六三番